



国立大学法人 群馬大学医学部附属病院

公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団 共同主催

第19回市民向け公開講演会

心と体にやさしい 重粒子線がん治療

講演会ガイド

日時

令和5年
9/24 日
13:30~16:00

場所

Gメッセ群馬
2階メインホール

群馬県高崎市岩押町12番24号
TEL: 027-322-2100



主催：国立大学法人群馬大学医学部附属病院、公益財団法人医用原子力技術研究振興財団

後援：文部科学省、厚生労働省、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構、

公益財団法人日本対がん協会、公益社団法人日本放射線腫瘍学会、群馬県、群馬県医師会



開催にあたって

群馬大学は、大学設置型の施設としては国内初の重粒子線がん治療を2010年に開始しました。重粒子線の利点を最大限活用した先進的な医療を安全に提供し、患者さんの生きがいある生活に貢献できることを目指しています。大学病院で重粒子線治療を実施する第1の利点は、集学的がん治療を最適に提供できる環境にあります。近年のがん治療は、放射線治療、手術、薬物療法、免疫療法など複数の治療法を併用する集学的治療が主流になりつつあります。重粒子線医学センターは、群馬大学医学部附属病院の中央診療施設の一部であり、様々な診療科・部門と連携しています。第2の利点は、がん以外の様々な病気にもワンストップで対応できることです。患者さんとご家族が安心して治療を受けることができるよう、診療科との連携をはかっています。重粒子線治療の技術開発は日々進化していますが、この分野を担う人材の数はまだ十分ではありません。群馬大学ではこれらの人材を育成し、国内外の粒子線治療関連施設に輩出する役割も担っています。また、国際交流を促進して、重粒子線医学分野におけるエビデンスの発信や未来医療の研究開発にも力を入れて取り組んでいます。

医用原子力技術研究振興財団（医用原子力財団）は、加速器等から発生する粒子線等による先端のがん治療をはじめとする各種放射線による疾病の治療ならびに診断等、放射線利用技術の研究を推進するとともに、その普及を図ることにより、科学技術の振興を図り、もって人類の福祉向上に寄与することを目的として、各種事業を展開しております。このための一環として、医用原子力財団では、「人にやさしいがんの放射線治療」をテーマとして、放射線利用技術が診断・治療等のさまざまな医療の現場で活用され、役立っていることを、広くわかりやすく一般の方々へご紹介し、国民生活に身近で、貢献度の高いものであることをご理解いただくことを内容とする「公開講演会」を毎年各地で開催しています。

第19回目となる今回は、高崎市において「心と体にやさしい重粒子線がん治療」をテーマとして、群馬大学重粒子線医学センターにおける最新の治療の状況及び取組みについてご紹介させていただきます。この公開講演会を通じて、重粒子線がん治療及び同治療に取り組んでいる群馬大学医学部附属病院重粒子線医学センターについて、群馬県内および周辺地域のみならず全国のより多くの国民の皆さまが関心をもち、理解を深めていただくことを目指します。さらに、患者さん自らががんをよく知り、恐れず積極的に向き合う環境づくりを進め、広く国民全体の福祉の向上につながることを期待します。

共同主催 国立大学法人 群馬大学医学部附属病院
公益財団法人 医用原子力技術研究振興財団

第19回市民向け公開講演会

心と体にやさしい 重粒子線がん治療

プログラム

13:30

開 会

13:40

第Ⅰ部 高崎チェンバーミュージックソサエティ 演奏会

14:20

第Ⅱ部 群馬大学医学部附属病院医師による
重粒子線がん治療 講演会

前立腺がん 河村 英将

子宮がん 安藤 謙

肺がん 岡野 奈緒子

肝臓がん 渋谷 圭

16:00

閉 会

開会挨拶



齋藤 繁 さいとう しげる

群馬大学医学部附属病院 病院長

略歴

- | | | | |
|-------|--|-------|-------------------------------------|
| 1986年 | 群馬大学医学部医学科 卒業
麻酔科 入局 | 2001年 | 群馬大学医学部附属病院麻酔科 講師 |
| 1987年 | 済生会宇都宮病院麻酔科 医員 | 2002年 | 群馬大学医学部 助教授 |
| 1988年 | 伊勢崎市民病院麻酔科 医員 | 2007年 | 群馬大学大学院医学系研究科
麻酔神経科学分野 教授（現在に至る） |
| 1993年 | 群馬大学大学院医学系研究科博士課程 修了 | 2007年 | 群馬大学医学部附属病院
高気圧酸素治療室 室長 |
| 1993年 | 群馬大学医学部附属病院 医員 | 2008年 | 群馬大学医学部附属病院集中治療部 部長 |
| 1993年 | 群馬大学医学部附属病院麻酔科 助手 | 2017年 | 群馬大学医学部附属病院 副院長 |
| 1995年 | 文部省在外研究員
（於：米国ペンシルベニア大学
医学部神経科学部門） | 2021年 | 群馬大学理事・群馬大学医学部附属病院
病院長（現在に至る） |
| 1996年 | 米国ペンシルベニア大学医学部
神経科学部門 博士研究員 | | |



辻井 博彦 つじい ひろひこ

医用原子力技術研究振興財団 副理事長

略歴

- | | | | |
|-------|--|-------|-------------------------------------|
| 1968年 | 北海道大学医学部卒業 | 2008年 | 同理事 |
| 1969年 | 国立札幌病院放射線科 | 2012年 | 九州国際重粒子線がん治療センター
特別顧問 |
| 1972年 | ニューヨーク市 St Vincent Hospital レジデント | 2014年 | (公財) 医用原子力技術研究振興財団
副理事長（現在に至る） |
| 1974年 | 北海道大学医学部放射線科 講師
在職中に米国とスイスで各1年間
リサーチフェロー | 2016年 | 神奈川県立がんセンター
重粒子線治療センター長 |
| 1984年 | 北海道大学医学部放射線科 助教授 | 2018年 | 量子科学技術研究開発機構・QST 病院
国際粒子線治療センター長 |
| 1989年 | 筑波大学臨床医学系教授・
陽子線医学利用研究センター長 | 2022年 | 同客員研究員（現在に至る） |
| 1994年 | 放射線医学総合研究所・
重粒子治療センター 病院長 | | |

第 I 部

高崎チェンバーミュージック ソサエティ 演奏会



高崎チェンバーミュージックソサエティについて

高崎チェンバーミュージックソサエティは、2011年に4名のアマチュア演奏家が弦楽四重奏の演奏を目的に結成されました。さらに県内や近隣の県から仲間が集い室内オーケストラを結成し、2013年からモーツァルトの交響曲全曲演奏に挑戦する【モーツァルト交響曲 全曲演奏シリーズ】の活動を行っています。当団は少人数ならではの精緻なアンサンブルを特徴としています。2024年3月24日に高崎芸術劇場にて開催する第20回定期演奏会で、交響曲第41番「ジュピター」の演奏を行い、モーツァルトの全交響曲の演奏を達成する予定です。

本日は聴きなじみのある親しみやすい曲を中心に、特別編成でお届けします。

演奏曲目

W.A. モーツァルト
「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」
K. 525 第1,2楽章

A. ヴィヴァルディ 「四季」より
「春」第1楽章 「夏」第3楽章

W.A. モーツァルト
交響曲第14番 K. 114 第1,4楽章



指揮者

Jeffrey Paul Budryk

演奏者

Violin	Cello
★長岡りん	齋藤靖明
内田美帆	紫桃宥成(賛助)
駒村蒼	Contrabass
戸渡順哉	贅田美羽(賛助)
中島瑞穂	Flute
宮村莉帆	池田美奈子
森本雅裕	佐藤美咲
Viola	Horn
熊澤琢也	木暮和夫
筒井洸貴	木暮千枝子
納原宏和	Cembalo
	林小百合(賛助)

★コンサートマスター、ソリスト

第Ⅱ部

群馬大学医学部附属病院医師による 重粒子線がん治療 講演会

前立腺がん

河村 英将 かわむら ひでまさ

群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター 教授



略歴

- | | | | |
|-------|---|-------|--|
| 2003年 | 群馬大学医学部医学科 卒業
放射線科 入局 | 2013年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター 助教 |
| 2003年 | 東京都立駒込病院診療放射線科治療 | 2015年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 助教 |
| 2004年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 | 2015年 | 群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学 助教 |
| 2005年 | 伊勢崎市民病院放射線科 | 2015年 | 群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学 講師 |
| 2006年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 | 2018年 | 群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学 准教授 |
| 2007年 | 日高病院腫瘍センター | 2021年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学センター 教授 |
| 2008年 | 伊勢崎市民病院放射線科 | 2021年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター医学部門 教授
(現在に至る) |
| 2009年 | 群馬大学大学院医学系研究科腫瘍放射線学 助教 | | |
| 2009年 | 群馬大学大学院医学系研究科博士課程 修了 | | |
| 2009年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター 助教 | | |
| 2011年 | Massachusetts General Hospital/
Harvard Medical School Research Fellow | | |

子宮がん

安藤 謙 あんどう けん

群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター 講師



略歴

- | | | | |
|-------|--------------------------------|-------|----------------------------------|
| 2007年 | 群馬大学医学部医学科 卒業 | 2014年 | 群馬県立がんセンター放射線科 医長 |
| 2009年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線治療科
シニアレジデント | 2016年 | 群馬県立がんセンター放射線科 部長 |
| 2010年 | 放射線医学総合研究所
重粒子医科学センター病院 医員 | 2017年 | 群馬大学大学院医学系研究科博士課程 修了 |
| 2012年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線治療科 医員 | 2020年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線治療科 助教 |
| | | 2021年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線治療科 講師
(現在に至る) |

肺がん

岡野 奈緒子 おかの なおこ

群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター 准教授



略歴

- | | | | |
|-------|------------------------------|-------|---|
| 2006年 | 群馬大学医学部医学科 卒業 | 2019年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学センター 助教（病院） |
| 2006年 | 日赤医療センター 臨床研修医 | 2020年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター 助教 |
| 2007年 | 東京大学医学部附属病院 臨床研修医 | 2022年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
先端粒子線医科学共同研究講座（日立製作所）
准教授（現在に至る） |
| 2008年 | がん・感染症センター都立駒込病院
シニアレジデント | | |
| 2012年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 医員 | | |
| 2014年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 助教（病院） | | |
| 2015年 | 群馬大学 大学院医学系研究科博士課程 修了 | | |
| 2017年 | 国立病院機構高崎医療センター放射線治療科 医員 | | |
| 2018年 | 群馬大学附属病院地域医療研究教育センター 医員 | | |

肝臓がん

渋谷 圭 しぶや けい

群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター 講師



略歴

- | | | | |
|-------|---------------------|-------|-------------------------------------|
| 2003年 | 群馬大学医学部医学科 卒業 | 2012年 | 群馬大学大学院医学系研究科博士課程 修了 |
| 2003年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線科 | 2021年 | 群馬大学大学院医学系研究科
腫瘍放射線学講座 講師（現在に至る） |
| 2003年 | 前橋赤十字病院 救急部・ICU・麻酔科 | | |
| 2004年 | 伊勢崎市民病院 放射線科 | | |
| 2005年 | 群馬大学医学部附属病院 画像診療部 | | |
| 2005年 | 静岡県立総合病院 放射線科 | | |
| 2007年 | 埼玉県立がんセンター 放射線科 | | |
| 2008年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線科 医員 | | |
| 2011年 | 群馬大学医学部附属病院 放射線科 助教 | | |

閉会挨拶



大野 達也 おおの たつや

群馬大学医学部附属病院 重粒子線医学センター長

略歴

- | | | | |
|-------|-------------------------------|-------|---|
| 1993年 | 群馬大学医学部医学科 卒業
放射線科 入局 | 2007年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター 准教授 |
| 1994年 | 栃木県立がんセンター放射線治療部 医師 | 2008年 | 群馬大学重粒子線医学センター
副センター長 |
| 1995年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 医員 | 2008年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学センター 教授 |
| 1996年 | 放射線医学総合研究所重粒子治療センター
レジデント | 2019年 | 群馬大学大学院医学系研究科
腫瘍放射線学講座 教授（現在に至る） |
| 1998年 | 群馬大学医学部附属病院放射線科 医員 | 2020年 | 群馬大学重粒子線医学推進機構
重粒子線医学研究センター センター長
（現在に至る） |
| 1999年 | 国立高崎病院放射線科 レジデント | | |
| 1999年 | 群馬大学大学院医学研究科博士課程 修了 | | |
| 1999年 | 国立高崎病院放射線科 医師 | | |
| 2001年 | 埼玉県立がんセンター放射線診断部 医師 | | |
| 2001年 | 放射線医学総合研究所
重粒子医科学センター病院 医長 | | |

みなさんの声をお聞かせください

アンケートにご協力をお願いします



携帯電話やスマートフォンで
2次元コードを読み取りご回答ください。



本日の講演を YouTube で配信します

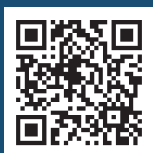
本日の講演は、群馬大学の公式 YouTube チャンネルでも配信予定です。

配信開始は 10 月 23 日 (月) 頃を予定していますので、
配信開始予定日以降に右記の 2 次元コードから ▶▶
ご確認ください。



この他にも群馬大学公式 YouTube チャンネルでは、重粒子線がん治療に関する動画を配信していますので、ぜひご覧ください。

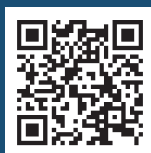
～重粒子線治療を支える人たち～



看護師編



医師編



医学物理士編



生物研究者編



診療放射線技師編

重粒子線がん治療施設見学会を開催します

群馬大学では、地域貢献の一環として、重粒子線がん治療施設見学会を年に 1 度開催しています。普段は入ることのできない重粒子線治療施設の内部を見学することができますので、ぜひお越しください。

参加
無料

日時 2023 年 10 月 28 日 (土) 13:00 ~ 16:00

会場 群馬大学医学部附属病院
重粒子線医学センター
群馬大学昭和キャンパス
群馬県前橋市昭和町 3-39-15

施設見学会の詳細は
こちらからご確認ください ▶▶





A series of horizontal dotted lines for handwriting practice, starting from the first dotted line below the 'メ' and 'モ' characters and continuing down the page.



黄色い葉は 痛くない、切らない、簡単 の3つを表しています。

緑の葉は やさしい治療 を表しています。

「Quality of life」というコピーは、

放射線治療が QOL (Quality of Life)の向上に大きく寄与し、
がん治療の新しい時代を切り拓いていくという決意を表しています。



国立大学法人
群馬大学医学部附属病院

〒371-8511
群馬県前橋市昭和町三丁目 39 番 15 号

群馬大学 重粒子



公益財団法人
医用原子力技術研究振興財団

〒103-0001
東京都中央区日本橋小伝馬町 7-16
ニッケイビル 5 階

ANTM



群馬大学医学部附属病院重粒子線医学センター及び医用原子力技術研究進行財団の活動については、
ホームページからご確認いただけます。